

SOGEVAC・SV300B 油回転式真空ポンプのメンテナンス

真空ポンプの性能を最大限に発揮させ故障を防ぐためには定期的なメンテナンスが必要です

① 日常的な点検

オイルの残量をチェック

ポンプを停止させ、オイルサイトグラス部で点検。

オイルを注入する場合は必ずポンプを停止させ、**大気開放してから**注入してください。

オイルの色と漏れをチェック

通常、オイルは透明です。黒ずんだ場合は交換してください。

劣化したオイルの使用は故障の原因となります。



汚れのレベルが2.0以上の場合、交換が必要です

ポンプのノイズをチェック

ポンプ運転初期値のノイズから変化が見られるかを観察してください。

ポンプの温度をチェック

同じ個所のポンプケーシング表面温度の変化を観察してください。

ポンプの表面温度は条件により異なりますが、80℃近くになる場合があります。

ポンプの使用環境温度は12℃から40℃です。

温度が高い場合はポンプ設置場所の通気または冷風機を設置し、条件の範囲内で使用してください。

② 定期点検

オイル交換

初回は150時間、2回目以降は1,000時間運転後、または3か月後。

オイルの汚れが激しい場合は必要に応じて行ってください。

オイル：LEYBONOL LVO130 5L：注文番号 L13005 20L：注文番号 L13020

オイルドレンプラグ：注文番号 71256380

オイル注入プラグ：注文番号 71073040

必要オイル量は最低8.5L、最大11.5Lです。実際には少量のオイルがポンプ内に残るため、オイルレベルグラスで量を調整してください。目安として約10L必要です。

排気フィルター交換

年1回、または排気ポートからオイルミストが出た場合に交換してください。

プロセスの影響により早く目詰まりする可能性が考えられます。その場合は排気圧力をモニターし、早めにフィルターを交換してください。

ダートトラップの清掃

1か月ごとに清掃してください。

異物が堆積すると、排気速度の低下につながります。



③ 定期オーバーホール

標準仕様は3年ごと、または20,000時間を超えた時点の実施を推奨します。

作業内容

ポンプの分解、清掃

各種消耗部品の交換（Oリング、ガスケット、ベアリング、モーターベアリング、フィルター等）

各種部品の検査

組立

運転テスト及び能力確認

詳しくはライボルト株式会社 技術・サービスセンターまでお問い合わせください。

〒305-0854 茨城県つくば市上横場1959

TEL：029-839-5480 / FAX：029-839-5485